

学校通信



喜多見



No10 令和7年2月26日

喜多見の学び舎

世田谷区立喜多見中学校

校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)

E-mail: dai131@setagaya.ed.jp

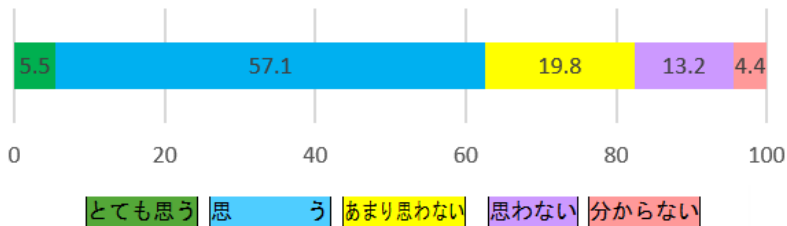
<http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

学校関係者評価アンケートから(3)

校長 紺谷 祥一

私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している。

【保護者対象アンケート】



新しい年度が近づくこの頃、改革の必要性や存続そのものの意義などを含むPTAに関する話題を紙面やネットで目にすることは少なくありません。この背景にはいくつかの要因が指摘されていますが、「負担が大きいこと」が一番にいつも挙がることは、校長として心苦しく、看過できない事態と思っています。記事を読み進めれば、その他の理由としては、「活動内容が時代に合っていない」、

「強制感や同調圧力を感じる」、「学校業務の肩代わり感が強い」、「効率的でない」、「参加したいけれど、とにかく忙しい」…等々、多くの学校では厳しい声が上がっている模様です。本校においては、先の学校関係者評価(記述欄)にはPTAに係る直接の声はありませんでしたが、上の統計からは学校行事やPTA活動、地域行事等では一定のご負担を感じさせていることが分かります。

最近手にした教育雑誌に掲載されていたある論文にも、改めてPTAのあり方について問い直しを求める主張が掲載されていました。引用して要約すれば、PTAの意義として以下の6つが指摘されています。

1. 「学校と家庭との橋渡し」
2. 「子どもたちの健全な成長の支援」
3. 「学校運営のサポート」
4. 「地域との連携」
5. 「保護者同士の交流と情報共有」
6. 「子どもへの良い影響」

1と2については、主に教育環境の整備に関わる活動であり、学校側と保護者側の考えや情報の共有、行事や学習環境の整備、講演会などの企画・開催など、より良い教育環境作りに向けた活動のことだとすぐに思い浮かびます。また、3や4については、学校における働き方改革が進むに連れて益々その活動意義は大きくなっています。しかし、同時にそれは保護者や地域の皆さんの負担もやはり大きくなってしまわないかという懸念も否めません。本校においても、諸行事やボランティア活動の補助など、学校側が単独では対応しきれない部分をたくさん支援いただき、円滑な運営に繋がっていることは感謝に堪えないところです。

5と6について、実感はいかがでしょうか。当該の論文には、5. 「PTAは、保護者同士が情報交換をして悩みなどを相談できる場でもある。思春期の子どもをもつ親同士が交流することで、教育や子育てに関する知見を深めることに繋がる。」という指摘があります。また、6. 「親が積極的に学校の活動に関わることで、子どもたちも社会貢献の意識をもつようになり、子どもの協調性や責任感を育むことにも繋がるのではないか。」とありました。物価高騰が続く中、本校でもお子さんの中学入学を機に共働きをする家庭は年々増えている様子であり、特別活動などイベント事など種々の活動への参加率もかつてほど高くありません。この一方で、少子化が進む中であっては、特に第一子の子育てや進路について不安や疑問を抱える保護者の方は少なくないことから、「相談できる場」としての潜在的なニーズは高いはずでもあります。また、6の指摘の裏返しは「保護者の学校離れ」ですから、それが進んでしまえば、「子どもの学校離れ」を心配します。喜多見中では、学校でのたくさんの活動一つひとつに対し、子どもたちが積極的に関わることを通じて、協調性や責任感などを身に付けて欲しいと思っています。

変化の激しい今日にあって、価値観もまた多様化しています。そんな中、種々の活動ではそのねらいを焦点化することが大切だと考えさせられます。活動の目的達成をめざしつつ、無理のない範囲で多くの保護者の皆さんが参加でき、且つ、子どもたちの成長に繋がっているという確かな手応えを伴うことが肝要と感じます。保護者の皆様の平素のご理解とご協力に甘えることなく、引き続き率直なご意見や素敵なアイディア等の提案をいただきながら、なお一層有意義な喜多見中学校の諸活動を共に展開できるよう努めます。

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（三津間響己）

1年間の学習の集大成となる学年末考査に向けて一人一人が目標を決めて熱心に学習に取り組んでいる姿が多くなってきました。朝学習や休み時間等を活用して課題に取り組む生徒が増えているように感じます。1年生フロアには定期考査対策予想問題カレンダーがあり、日々テストを意識しながら生活をしています。学年末テストではこれまでの復習問題なども出題されます。「理解したつもり」になっているところを見直して試験に臨みましょう。

今月は、職業調べの発表会がありました。将来の夢が決まっている人も、そうでない人も「どんな職業があるのか」を調べることはとても大切なことです。これからの学校生活や進路選択に必ず役立つはずで、2年生になると高校進学などを徐々に見据えながら生活をしていくことになります。テスト後は、1年生としての1年間の振り返るとともに、「今後、自分がどうなりたいのか」ということを考えながら生活してみると良いと思います。



2年生の様子から（漆沢伸一）

気がつけばもう3月はすぐそこです。2年生の終わりがすぐそこまで迫ってきています。ほぼ1年前、2年生になりたての頃の自分と今の自分。どんなところが成長しましたか？ 自分の良さを見つけられましたか？ 自分の良さをクラスや学年で活かすことができているですか？ 残りの1ヶ月は、そんなことを意識して生活できるように、3年生になるまでのカウントダウンカレンダーを作成し掲示しています。ここで、学年目標ももう一度振り返ってみましょう。

「応援される学年になる」 第二章 ～凡事徹底・桜梅桃李～



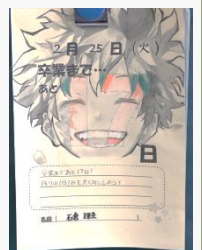
春も近づき、花も咲き始める時期です。皆さんもこの一年間で培った力で、自分のだけの花を咲かせることができるように、残りの日々を積み重ねていきましょう。

（写真：クラスごとに作成しているカウントダウンカレンダーです）

3年生の様子から（浜砂美紀）

3年生が学校に登校する日数も、あと15日足らずとなりました。新年を迎えてからの2か月間、自分自身で決めた卒業後の進路に向けて、ひたすら頑張ってきた人も多いでしょう。特に2月は、私立高校や都立高校の一般入試が行われ、何となく落ち着かない日々を過ごすことも多かったかもしれません。本当に、よく頑張りました。今となっては、あっという間だったと感じているかもしれませんが、これまで重ねてきた努力は決して無駄にはならないはずです。

さあ、いよいよ卒業までのカウントダウンが始まりました。喜多見中学校の3年生として、どう過ごしますか？入試が終わっても、勉強が終わったわけではありませんし、これまで守ってきたルールを守らなくていいわけでもありません。何をしてもいいわけではないのです。3年間の締めくくりとして、きちんとした学校生活を送り、後輩に背中から伝えられるよう、そして、これまで支えてくださった先生方・地域・保護者の方々に成長した姿を見てもらえるように大切に過ごしてください。



E組の様子から（桐山侑紀）

今学期に入り半分以上を過ごしました。今月は学習成果展覧会・学校公開がありました。実技教科の作品はもちろん、英語の「マイヒーロー」や国語の書道などたくさんの作品が喜多見中学校いっばいに展示されました。1年生は総合での大根レポート、2年生は授業風景のフォトコーナー、3年生は修学旅行での思い出ブックや湯飲みの絵付け体験での作品がとても魅力的でした。この一年間の生徒たちの学習の成果(作品)は、子どもたちの授業や学校での様子が伝わってきます。それらを保護者や地域の方々に見ていただくととても素敵な一週間となりました。お忙しい中、足を運んで作品や授業でのお子さんの様子を見に来てくださりありがとうございました。



また、E組では職場訪問で白バイ訓練場と砧浄水場へ見学に行ってきました。警察官の方から訓練の様子や実態などお話を聞き、生徒たちも興味津々で質問をしたり練習風景に釘付けになったりしていました。実際に白バイに乗せていただくなどとても貴重な体験もすることができました。浄水場では、私たちが使っている水についてのしくみや浄水場がしていることなどを詳しく教えていただき、生活の助けとなっている職業に触れ、地域貢献への考えを学びました。



今号の「わたしのきたみち」は、田中 ●● さん(R.2年度卒)からのメッセージ。『チャンスに挑戦して可能性を広げてみて』 — 教師という夢に向かって歩みを進める偉大な先輩から、また一つ力強い言葉が届きました！

こんにちは！私は令和2年度に喜多見中学校を卒業し、現在は文教大学の教育学部数学科に通っている大学新2年の田中です。

喜多見中学校では、バレーボール部の部長と学級委員を務めていました。それぞれの仕事量が多く忙しい場面が多かったものの、身の周りの方々の支えのおかげで無事に両立することができ、責任感やリーダーシップ、コミュニケーション能力をより育むことができました。普段の私では経験せずに避けてしまうものであったため、推薦してくださりこのような機会をくださった先生方や友達には今でも感謝しています。

中学卒業後は都立小山台高校に進学し、ハイレベルな授業と伝統ある行事、個性あふれる友達に恵まれながらとても思い出に残る3年間を過ごすことができました。そして現在、文教大学では教育の基礎理論や教科教育、指導技術について学び教師の夢を叶えるべく日々努力を重ねています。

中学生のみなさんは、将来の夢や目標を持っているでしょうか？自分の夢に向かう道の中では、壁にぶつかることもあるかもしれませんが、そこで折れることなく少しずつでも前に進むことで掴める未来が待っているはずです。そして、まだ夢を持っていないみなさんには自分の好きなこと・楽しいこと・得意なことを大切にしたいです。どんな小さいことでも構いません。あらゆるチャンスに挑戦して自分の可能性を広げてみてください。これから長い学生生活で自然と自分の進むべき道が見えてくると思います。これからのみなさんの活躍を心より応援しています！



喜多見中 新春 百人一首大会

国語科 西城先生からのメッセージ

1月下旬、校内で「百人一首大会」が行われました。格技室に並べられた畳の上で、普段はなかなか味わうことのない雰囲気の中、上の句が読み始められると、「バシッ！」と札を取る音が響き、下の句が読まれる頃には、並んだ札をじっと見つめ、次への準備をする。1、2年生共に熱戦が繰り広げられました。1年生は、ぜひこの経験を来年度に生かしてほしいと思います。3月1日(土)には、代表生徒2名が世田谷区の百人一首大会に出場します。



1年生 優勝学級：D組

- 第1位：D組 阿佐見 ●●さん
- 第2位：A組 藤山 ●●さん
- 第3位：C組 鵜田 ●●さん
- 第4位：D組 有川 ●●さん
- 第5位：A組 大神 ●●さん
- A組 田中 ●●さん
- B組 中瀬 ●●さん
- D組 小泉 ●●さん

2年生 優勝学級：C組

- 第1位：C組 北郷 ●●さん
- 第2位：D組 芳賀 ●●さん
- 第3位：A組 鈴木 ●●さん
- 第3位：D組 山地 ●●さん
- 第5位：C組 佐藤 ●●さん

2月7日(金) 学校保健委員会の報告

内 容：「子どものための足育」 講 師：アキレス株式会社お客様相談室 林 達夫 様

講演では、足のつくりなどの基礎的なことから始まり、正しい歩き方、自分にあった靴の選び方、正しい靴の履き方、合っていない靴を履くことによって生じるトラブルまで幅広く教えていただきました。途中、自分が履いている靴の裏を見ると自分の歩き方の癖が分かるというお話があり、実際に自分の足裏を確認している生徒も見られました。また、実際に体育館履きを正しく履き直す活動を行った際には、生徒から「履き心地が良くなった」「動きやすくなった」などの声が聞こえました。中には、体育館履きを買って以来、初めて靴紐を触ったというような生徒も見られました。自分の体や動きに興味をもち、今後の長い人生を健康に生活していくためにどうすれば良いか、考える機会となったのではないかと思います。今回の講演を通し、自分の体の不調を「痛い」だけで終わらせず、「どうすれば症状が改善されるのか」を自分自身で考えられるようになったら嬉しいです。



【参加生徒の声】

- ・今まではデザインだけで靴を選んでいましたが、これからは自分の足に合った靴を選びたい。
- ・自分が履いていた靴は小さいことが分かった。少し小さくても問題はないと思っていたが、買い換えようと思った。

第3回 多様な学びを考える保護者の会（ご案内）

今年度の第3回「多様な学びを考える保護者の会」を以下の通り開催いたします。ゲストに家族カウンセラーの 柿澤 一二三 様をお招きし、家族の関係調整を通じた子どもへの支援の仕方について学びます。ぜひ、ご参加ください！

日 時：令和7年3月8日（土）
14時00分から（およそ90分程度）

場 所：喜多見中学校 2階被服室

内 容：校長より校内外の体制や方針について
ゲスト



東京 | 子どもの悩み専門
家族カウンセリング 研究所

家族カウンセラー

柿澤 一二三 様

2/13 すぐーる ご参照ください

2年生 環境・食育 特別授業

2月14日（金）に2年生を対象とした環境・食育特別授業を行いました。講師として給食の食器を製造している三信化工（株）の海老原 誠治 様をお招きし、食器の製造過程を含めた、ものを大切にするに関する講演をしていただきました。講演の途中では「エコがみえるすごろく」を班ごとに実施し、環境を考えた生活の仕方について学びました。

【生徒の感想】

親や周りの人に何を
するにもエネルギーを
使うということを教
え、これから節約を頑
張りたいと思った。



どんなことでも、遠慮なくご相談ください！！ 春は変化の多い、ストレスを受けやすい時期です

進級や新生活に期待を感じる一方で、不安や悩みを抱えていませんか？ 思春期は子どもから大人になる移行期。中学生の心と身体には「子ども」と「大人」の特徴が同居し、不安定になりやすい時期です。また、保護者の中にもお子様の心や身体、発達等について気になったり、思春期特有のお子様の言動について悩んだりしていないでしょうか。悩みを一人で抱えることなく、ぜひ、学校を頼ってください。原則、火曜日と木曜日にはスクールカウンセラーが勤務しています。また、本校では入学を予定されている児童の保護者の方を対象にもご相談を受け付けます。4月からのスムーズなお子様の生活に向けたサポートができれば幸いです。ご相談は、カウンセラー以外でも、担任はもちろん、副担任、教科担当教員も、また、副校長も、校長も対応します。先ずは、お電話をお待ちしています！



学習成果展覧会・学校公開（2月3日～8日）

ご来校、ありがとうございました！

学習成果展覧会ならびに学校公開日にご来校いただき、ありがとうございました。今年度も各教科の作品だけでなく、生徒会をはじめ、各学年の取組や部活動の他、喜多見小の代表児童、地域・保護者の皆様から等の非常に多くの出品が集まる、喜多見中ならではの温かみ溢れる展示会となりました！



3月の予定から

- 3月 3日（月）全校朝礼、都立一次・分割前期合格発表
- 8日（土）土曜授業・保護者会（11時00分～11時50分）
多様な学びを考える保護者の会（14時00分）
- 11日（火）都立分割後期・二次（14日発表）
アクション講座「高齢者疑似体験」（3年生）
- 19日（水）卒業式（給食なし）
- 24日（月）大掃除（給食なし）
- 25日（火）修了式・離任式（給食なし）



見学・体験 ください！

アクション講座「高齢者疑似体験」（3年生）

加齢に伴う身体的不自由さや心理的変化等への理解を通し、高齢者への思いやりの心を育みます。将来自分にも起こりうる状況を理解し、社会制度や福祉についても関心を深める機会とします。保護者ならびに地域の皆様もぜひ、ご参加ください。

日時：3月11日（火）午前10時50分から12時40分まで

会場：喜多見中学校 体育館・格技室

講師：喜多見あんしんすこやかセンター

介護支援専門員 吉田 和子 様 他



3月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	1
		□		○		
2	3	4	5	6	7	8
		□		○		
9	10	11	12	13	14	15
		□		○		
16	17	18	19	20	21	22
		□				
23	24	25	26	27	28	1
		□				

【担当SC】□：江部 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

入学予定の児童保護者の方の相談もお待ちしています！

相談室直通ダイヤル
03-3417-5372